

平成24年度第7回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成25年1月29日（火） 午後2時00分～午後3時50分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員（会長）、川上幸子委員（副会長）、石渡重道委員、伊藤昭博委員、
計16名 太田達彦委員、加藤幸雄委員、君島京子委員、駒田静雄委員、櫻井基一郎委員、
洪井トミ子委員、清水恵美委員、五月女京子委員、中西幸子委員、真壁諦委員、
松谷宣子委員、吉田恵美子委員

【事務局】 河内地域自治センター所長、北部地区行政推進担当参事、地域自治制度担当副
計8名 参事、地域経営課長、他4名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

・本日の会議の出席者数は16名、磯川康男委員、高久剛一委員、田村正男委員が欠席。
委員数の過半数に達しているため、会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ：「教育・文化、健全育成」）について
・提案書（案）について

発言者	発言内容
会 長	<p>本日は、地域のまちづくりに関する施策の提案について、今回のテーマ「教育・文化、健全育成」の提案書についての最後の協議になるのでよろしく願います。</p> <p>前回の会議で提案書（素案）について協議し、皆さんから意見をいただいた。その意見については、私と副会長で協議して、文言等について整理を行い、事務局で提案書（案）としてまとめた。</p> <p>協議事項（1）①提案書（案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料1の表紙から、5頁までの説明
会 長	事務局から前半の5頁までの説明があったが、何か意見・質問等あるか。
委 員	<p>5頁だが、非常に良くまとめてあり、わかりやすくなっている。</p> <p>現状の枠の中で、強みと弱みについての説明があったが、いきなり白丸と黒丸となっているので、白丸は「地域の強み」、黒丸は「地域の弱み」という凡例を付記したほうが読みやすい。</p> <p>その下の課題の欄は、弱みについて改善克服しようとする課題であるので、ここはすべて黒丸になるのではないか。</p>
会 長	白丸と黒丸の標記をして、わかりやすくしたほうがいい、という意見についてはどうか。
事務局	凡例の標記について、ご審議いただきたい。
会 長	<p>皆さんの意見をいただきたい。</p> <p>現状の枠に凡例をつければ、白丸が「強み」黒丸が「弱み」とわかる。</p> <p>その下の課題の所は、黒丸にすると「弱み」と捉えられるので、白丸と黒丸</p>

	以外のもので記載すると良い。
会 長	異議がないので、凡例を標記することとし、課題部分は検討させていただく。他に質問等はあるか。
委 員	3頁のまちづくり提案の体系図の中で、「地域の目標像」がある。目標とか課題とか考えていく課程で、漠然としている。「地域力アップの目標像」としたほうが、わかりやすい。「地域の目標像」というのは、「地域力アップの目標像」ではないのか。地域力がアップしている地域では、イベント等をやっても成功していると聞いている。「地域力」に改正したほうが、より理解されやすい。
会 長	今の委員の提案は、5頁のまちづくり提案の体系図の「地域の目標像」を「地域力アップの目標像」に修正してはどうかということだが、皆さんの意見を伺いたい。
事務局	「地域の目標像」は、23年度の第1回の会議で説明したものを使用している。合併市町村基本計画の中に地域の目標像が、上河内と河内にそれぞれある。その文言をここに記載した。河内の場合は、「水と緑に囲まれ やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域」というものを目標に掲げて、合併市町村基本計画がスタートしている。合併時に取り交わしている合併市町村基本計画の文言である。
会 長	委員は、自治会議に関わり、事務局の意向を十分に理解し、意見を出しているが、事務局の説明についてはどうか。
委 員	概念規定である言葉の意味を考えた時に、地域力というのが、アップしていかないとうまくいかない。地域力ということで、ボランティアをする人たちも、その目標を共有化することで、前に進んでいく意識が高まる。これから実行していくうえで、ピントがずれる。
会 長	委員が出した意見を「地域の目標像」のところに入れると、下の副題の「水と緑に囲まれ やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域」という表現を変えなくてはならない。この言葉を変えると、それぞれの温度差が出てくる。他に意見はあるか。
委 員	私は、提案書の資料1の表紙のところも、本来なら「地域力」が良かった。しかし、全部を変えていくと、いろいろなものを変えていかなければならない。キャッチコピーに近いものを変えると、言葉のニュアンスも変わってくる。
会 長	下の文章を変えなくても、上の文章のところに、「地域力アップ」と言葉を入れるだけで、まちづくり提案の体系図の全体的な印象が変わってくるのではないか。ここを変えたから、他も変えるという意味ではない。 イメージとしては、インパクトが強くなるように思う。ただ、「地域」という言葉は同一の解釈はできても、「地域力アップ」という言葉は、市民一般の人が同一の解釈をするのに、人によってまちまちになる。委員が意見として出されたイメージで、万人が受け止めてくれるかは、未知数である。例えば、「学力アップ」という言葉を使うと、皆が学力アップにモチベーションが上がるかという、下がる人もいる。
委 員	「地域」と「地域力」という言葉を考えていただきたい。「地域力」というのは、地域の過去の積み重ねてきたものの上に立った言葉であり、意味の経緯を理解するうえで、「地域」と「地域力」という言葉は、かなり違う。 私がイベントを行う時に、「地域力」というとその地域の歴史を踏まえたい

	での言葉だと捉える。
委員	「地域の目標像」のままで良いと考える。地域の目標像が達成できれば、当然、地域力がアップされる。その先にあるのが、地域力アップであり、「地域の目標像」はこのままで良い。
会長	他に意見はあるか。
委員	私も同じ意見である。 これまでも、「水と緑に囲まれ やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域」の実現のために、それを地域の目標としてこの提案を話し合ってきた。これが実現できれば、地域力は付いてくるものなので、このままで良い。
会長	そのままで良いという意見が出されたが、このままで良いか。
委員	異議なし。
会長	他に意見はあるか。
委員	最初の提案から、5年になる。自治会議1期、2期の提案は、全体をまとめて提案を出している。3期目の提案から、部分的にまとめていって、最終的なものを集大成しようとする提案に変わった。1頁「はじめに」の部分に2行程追加をしてほしい。 「行政は日々動いているので、こういう部分的な提案が、集大成を待たずに、市の行政に反映されることを期待する。」という形のものを入れてほしい。 これを見ると、最後の提案が終わってから対応すれば良いと取られかねない部分もある。最初から今回の形でやってきていれば良いが、最初の1期、2期の4年間は、全体を見て提案している。市も5年計画というものを掲げているので、途中経過のものも盛り込まれて達成されてくれば、私たちのやってきたものが、行政にも反映されていると意気も上がる。そういうことで、2行程入れていただきたい。
会長	今の意見は、この自治会議及び提案書が持つアキレス腱になる。この自治会議は、具体的な提案を出していくという仕事をしている。委員の意見は、2行の中に具体的な提案を記載すると言っているのではなくて、自治会議において良い提案書ができたので、棚上げをしなくてもいいのではないか。この提案を前向きにとってもらい、行政に反映してもらおうというサービス精神があってもいいのではないかというように感じた。それについては、行政側の姿勢等を伺いたいかどうか。
事務局	追加したい文言等があれば、どのような文言がいいのか、皆さんで協議していただきたい。 今回の提案は、市に対する要望ではなく、自分たちでできることは何かという視点からスタートしているので、初期の基本に立ち返っていただき、審議をお願いします。
会長	委員は、どこの行にどのような文言を入れるか、提案があればお願いします。
委員	1頁最後の2行の前に、「本自治会議は、10年間の長期にわたっている。段階的に提案をさせていただいているが、行政は日々刻々と進行しているので、実際の具体化に向け、行政に反映できると幸いです。」というような形が良いのではないかと思います。 自治会議のメインは、前半に終わった合併市町村基本計画の執行状況の答申。その中には、スポーツのための運動場の整備であるとか、どんどん進んでいる。

	<p>尚且つ、この期間中に景観地区として白沢宿が風景の保全地区ということで指定をされて、具体的に行政は進行している。</p> <p>こういうことも私たちは、間接的に提案をしていて、23・24年度の自治会議の一貫の成果であり、市が掲げれば、そうだという形になる。そういう形になれば、行政に大いに推進してもらいたい。</p>
会 長	<p>自治会議の提案なり、提案書が具体的でなくても、このように行政に反映されていくというようなプロセスが見えてくると、これから先、何年かに渡って行う場合も見えた形で出てくるのは、非常に大切。自治会議の努力が後押しして実っているということであれば、自治会議委員の存在をも高めることに繋がる。</p> <p>市民ができることからやっていくのは当然だが、行政も一緒にやり、協力できるところから取り組むというのが、市民と行政の協働の理念だと思う。いかがか。</p> <p>文言等は考えさせていただくとして、1頁の最後から2行目の前に、文言が入っていくということによろしいか。</p>
委 員	<p>今までもこの会議のあり方と地域のまちづくり協議会のあり方について、何回か発言させて頂いた。特に今回、絞り込んだテーマについて、地域の活性化のためにいろいろな具体的なものを私たちは、提案している。この提案と現在進行している自治拠点施設建設促進委員会が動いている。</p> <p>私たちの提案が、自治拠点施設建設促進委員会に当てはまるものが多い。自治拠点施設建設促進委員会が自治会議の議事録等を見て、どういうふうに咀嚼し、組み入れようとしているのか、私たちにはわからないので、報告も頂きたい。</p> <p>先ほど委員の意見で出たように、私たちの提案が、市長に提出する以前に、常日頃からまちづくりについての共通のテーマについては、具体的に議論することが必要。そうしないと、私たちの提案は、10年先でいったん終わってしまうので、なんの成果を見ないうちに一過性で終わってしまう。結果の反映を見ないうちに、無駄な提案に終わってしまうと危惧されるので、そういうことがないように、まちづくり団体や今回発足された自治拠点施設建設促進委員会が、どのようにリンクしていくのか。</p> <p>私たちの提案が受け入れられながら具体的に検討してもらわないと、せっかく出来上がった地域拠点の整備に禍根を残すようなことになるのではないかと。</p> <p>予算の面とか工程の都合があると思うが、せっかくの画期的な提案については、前向きな議論をして、いかに実現化するかを図っていただかないと私たちの提案は無駄に終わってしまう。</p> <p>先ほどの委員の意見については、全くの賛成。それに、市とまちづくりと一緒に進めていくという運び方を是非とも進めていただきたい。</p>
会 長	他に意見はあるか。
委 員	<p>先ほどの委員の意見については、私も賛成する。3回目の提案になるが、私が最初に考えたいのは、今までは、行政頼りの依存した提案が多かった。</p> <p>今回は、地域の人が自ら取り組んで行けるような内容で、当然、実効性がある。8割ぐらい頑張れば、実施できる実現プランになっている。文言は必要かもしれないが、これをいち早くまちづくり協議会に持っていき、話し合っ</p>

	けば、進んで行けるものがあるので、あまり大げさに考えなくても実現できるだろう。
会 長	それでは、先ほど委員から出た文言等を参考にしてまとめたものを次回に提出する。 よろしいか。
委 員	異議なし。
会 長	他のところで、何か意見はあるか。
委 員	(意見なし)
会 長	修正等は、今日が最後になる。意見が反映されなくても、この提案書を作るために集まって、長い期間会議をしたことが、大きな財産なり無駄にはならない。委員の皆さんの努力に敬意を払いたい。 提案の中に先ほどの意見の文言等が入ると、「行政のやらない」、「やれない」、「やりたがらない」ということへのけん制するという力もあり、委員から具体的に意見が出て感激している。
委 員	スポーツの面で考えてみた。今のスポーツ活動は、河内でもかなり進行して活発に行っている。市の24年度の体育大会でも3種目優勝して、39地区のうち8位となった。スポーツは、幼い子どもから大人まで必要である。現在、練習する場所に借用料があり、それが軽減されれば、スポーツがもっと盛んになるので、検討していただきたい。
会 長	話の趣旨は、理解する。 3頁のまちづくり提案の体系図で、目標とか掲げている中で、今の意見のスポーツの個別テーマを入れても、今まで委員の審議が、スポーツに関わって来なかった。初めに戻ると、行政にこれから何かして欲しいという要求項目を並べたてる会議ではなく、皆さんが自主的に考えたテーマの中から、出来る事をピックアップして、まとめたもの。スポーツが個別的にこういう問題があると出すと、委員がどこまで議論したかという話になる。スポーツのテーマは大事だが、25年度に審議の対象になるので、その時期まで待っていただきたい。 25年度の健康の領域に入るかもしれないが、スポーツとして取り上げて、委員の皆さんがワークショップでいろいろな方策を考え、良いアイデアを出すということではいかかがか。
会 長	それでは、5頁まではこれで良いと、理解させていただく。 6頁以降、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料1の6頁から最後まで説明
会 長	ただ今の説明で、意見、質問等あるか。
委 員	6頁の実現方策2の②「郷土料理の勉強会を開催する。」とあるが、もう少し付け加えたい。ある地域の女性農業士会があり、「今伝えたいふるさとの味」という小冊子が出ている。昔から、地域でもこのようなものを作ってきたと思う。合併してから、このようなものを作る機会はないと思う。これには、年間のいろいろな料理の作り方や伝統行事食であるとか保存食であるとかが載っていて役に立つ。このような小冊子を作るといふようなことを付け加えていただきたい。これと同じことが、9頁の実現方策12の①「指導者を育成するカリキュラムを作成し、養成講座を開催する。」のカリキュラムを作成するという所にも、繋がってくる。小冊子を作ることによって、教育の幅が広がるので、このような

	文言を入れていただきたい。
会 長	具体的な文言の表現をお願いします。
委 員	「郷土料理の勉強会や小冊子を作成する。」というような文言が良いかと思う。
委 員	一昨年あたりに、郷土料理ではなかったかもしれないが、郷土の材料を使った料理本は、農業女性の会で、立派なものを作っている。私も購入して持っている。そこには、地域の生産物を使った料理の紹介がきれいな冊子になっている。
会 長	この中に小冊子やテキスト等が、ないかのように書いてしまうと、今の意見のように、実際はあるとなってしまう。
委 員	料理だけではなくいろいろなものがあり、河内の特性を活かし集大成したものが小冊子としてまとめられ、勉強会などで使われるようになれば良いと考えた。
会 長	事務局が説明した6頁以降を見ると、恐らくすでに、いろいろなところで実施されているものがある。今回は、間に合わないかもしれないが、例えば先ほどの実現プラン②のところに、参考資料として、箇条書きでこのようなことが行われている、と添付されれば分かりやすい。ここに出ている実現プランは、全くないものではなく、あるものもある。 あるものについては、このようなリストがあると資料が添付されていれば、そこにプラスされて、更にこのようなものが必要ではないかという具体案が出てくる。どこまでが、プランでどこまでが現実にあるものかと疑問に思う。 皆さんの意見を伺いたい。
委 員	素晴らしい意見を出していただいている。6頁から9頁まで目を通すと、この中の提案を進めている中で、相当に実施しているものもある。 実現プランとして「～をやる。」と書いてあるが、現実には、誰がどこでどのようにやるかということまで行かないと、ただの台本になる。「出前講座を開催する。」と書いてあっても、誰がどのようにと考えるか。 昔遊び、作品展示とかは、文化協会や育成会等で実施している。このように、実施している部分とこれから実施していく部分と提案をしてどのように実施していくかという部分と考えるといけない。
委 員	今、言われたように、すでに出来ているものもある。良い資料としてまとまっているものもある。しかし、宇都宮市に新たに在住した人は、なかなか手に入らない。広く大勢の人に見てもらう場合は、印刷にするとかまとめていったほうが良い。図書館や展示会等で展示するなどの形になって行けば良い。 グランドワーク西鬼怒で活動していて、必要性を感じる。田んぼの学校などの行事等を行っているが、参加した人は見られるが、参加していない人は、ホームページで見るといってもきちんと整理されていないので、出てこない。 先ほど意見が出たように、地元の古い人は、いろいろな良い資料を持っている。しかし新しい住民は、なかなかそのような資料に触れることは難しいので、広く見られる機会を提示していただきたい。
委 員	今の委員の意見ですが、実際に、まちづくり協議会でいろいろなデータベースを作っている。ソフトができないと、インターネットで見られないのは、現実だと思う。もう少ししばらく待っていただければ、地域の半分ぐらいのことはわかかると思う。この提案に入っているグルメ等もまちづくり協議会にお願いして、

	データベース化していただくよう期待する。まちづくり協議会の会長がいるので、お聞きしたい。
委員	今回の実現プランでは、素晴らしい意見を作った。まちづくり協議会は、この実現プランを参考にしながら、実践できるようにやっていきたいと思う。まちづくり協議会のホームページで、河内のことがいろいろわかるが、河内の料理等で、白沢宿あたりでの伝統的なごぼう汁とかがあるらしいので、そのようなものも載せたりして多方面に広がっていけば良いと思う。企画のほうで、河内地区全部を見ることができるようデータベース化をしている。自分たちの地域は、自分たちで考えるということで、皆で活発なまちにしていくように、いろいろな考えや意見を取り入れていくので、皆さんのご協力をお願いしたい。
会長	他に意見はあるか。
委員	<p>今回の提案は、目標から実現プランまで、非常に良くまとめられている。各プランとも掲げられている項目は、イメージがわく。具体的に表現されている。特にAグループが出したプランはまさに具体的なもので、読めばすぐわかる。</p> <p>現在進行中のものは、今後充実させるということと、新たに組み込まなければならないものは、新規に検討し、実現化を図るということが必要である。</p> <p>イメージのわく項目の中に、ひとつだけ6頁の実現方策2の③『「地域の日」を制定する。』は、前回の意見にもあったように、「どのようなことなのか。」ということで、確認されている。「地域住民が何か取り組めるものを行ったら良いのではないか。」という主旨だったが、『「地域の日」を制定する。』では漠然としている。</p> <p>過去の資料を調べて、河内の合併時の経緯をみた。昭和30年に古里村と田原村を合併して河内村になった。その時の合併の主旨で、河内村という名前に決まったのはなぜか。「古里村と田原村で、どうして河内村なのでしょう。」という質問に対して「当時、将来的に更に町村の合併が起り、河内郡の名称が消える可能性があり、河内の名前を是非とも残しておきたいという意見から河内村にした。」という記事がある。昭和41年に、河内町ということで、町政が敷かれ存続された。平成19年3月31日をもって、宇都宮市と合併し、河内町というのが完全に消えた。地番、地名としてどこにもない。しかし、行政としての組織は、河内の名前のもので存続している。河内地域自治センターや河内図書館、河内総合福祉センター、河内保健センター、河内生涯学習センターと河内の名前が付いている。現在の地域住民は、元の河内町ということで理解できる。将来子どもたちが、「どうしてこのような名前なのか。」と疑問が起きるのではないか。</p> <p>ここで言う、「地域の日」というものを3月31日にすると春休みであり、他の団体の催しものも希薄な時期であり、この日を「地域の日」とするか「河内の日」にするか別として、河内としての地域の活性化を図って、何かの行事を立ち上げることが、必要ではないかと気が付いた。</p> <p>「地域の日」というものをもう少し具体的に何か良い言葉で表現されるなら、今後、良いアイデアとして、取り組みが行われるのではないか。</p>
委員	「地域の日」について設けようという主旨については、地域の日を設けて、その時に地域の歴史等を地域全体で一斉に、勉強しようということで、このよう

	<p>な日を設けてはどうか、という意見だった。私も、この実現方策2の③を見て、この表現だと希薄ではないかと思う。「地域の日」の名称は何れにしても、例えば、「地域の日」を制定し、地域の歴史の勉強を行う。など、「地域の日」の後に、何かをしよう、何かを学ぼう、とか、「地域の日」の後に、何か文言を付け加えると具体的で、わかりやすいのではないか。</p>
会 長	<p>他に意見はあるか。</p> <p>今の意見を含めて、全体としての皆さんが提案した実現方策、実現プランは、よく整理され、合理的なものになっている。それだけではなく、長い時間をかけて出し合ったアイデアが満載されている。そのアイデアのひとつが、「地域の日」になる。</p> <p>私の意見としては、「地域の日」を具体的にこのような日にするというよりも、括弧書きで「地域の日」とするほうが、いろいろな意味でイベントを包括しやすい。歴史の勉強の日とか限定するのではなくて、「地域の日」という包括的なイベントデーになるのかとイメージを持っていた。河内の名称の歴史とか、地域の問題の発掘とか、いろいろな祭りをしようとか、いろいろなアイデアが出てきて、そのアイデアの源になるのが、「地域の日」で良いのではないか。</p> <p>括弧書きなので、「県民の日」とかのように、日にちを決めているのではなく、「地域の日」という漠然としながら、いろいろなアイデアをここに出して、出された人の思いが、ここに伝わっていくのではないか。</p> <p>具体的な日として、名称を付けたり、日にちを決めたり、何かをするというよりはと思うが、皆さんの意見を伺いたい。</p>
事務局	<p>会長からの説明のとおり、大きな捉え方のひとつとして、『「地域の日」を制定する。』とまとめさせていただいた。委員からの提案では、「地域の日」を制定して、地域活動をする日、または清掃活動をする日という意見をいただいた。あえてそこに拘りなく広く捉える形で、清掃活動、奉仕活動、ボランティア活動等とし、「地域の日」という形を基にして、次に独自で考える。</p> <p>そのような捉え方で実現プランとして記載したので、審議をお願いします。</p>
委 員	<p>「地域の日」というのは、固有名詞だと思うが、「地域の日」というものを作るのであれば、「河内の日」とか「〇〇の日」とか、はっきりしたほうが良い。「地域の日」と言っても分からない。</p>
委 員	<p>私も最初は、特定の歴史が含まれていて、そのようなことを勉強する広範囲なワークショップと捉えていたが、会長、事務局から説明があった広い意味で捉えたほうが、いろいろなイベントが頭に付いて、広がっていくように感じた。</p> <p>特定の日ではなくて、いろいろな地域のイベントを実施した時に、それを頭に付けたものとしたほうが良い。</p>
委 員	<p>ネーミングの部分で、なるほどと思う意見がたくさん出た。私は、この実現プランというのは、すべてが実現できることではなくて、その中でこれは良いと思うものを皆で話し合っていくものだ。</p> <p>そういう意味で、「地域の日」を制定するというのは、皆が良いと思っているので、具体的に話し合う時に、具体化して具体的な名前を決めていけば良いので、この実現プランに出すのは「地域の日」とし漠然としていても良い。</p>
委 員	<p>私も、今の意見に賛成する。実現方策の項目の中にいろいろなアイデアが出ている。それらはアイデアとして出されているもので、より深く具体的に</p>

	記載されているものは特になので、「地域の日」と、漠然としているところが良い。これから発展していき、範囲が膨らんでいくので、このままで良い。
委員	私も同じ意見になる。この委員会で、「河内の日」等に決めてしまうよりも、これから地域の人皆で考えて決めても良いので、このままで良い。
会長	委員からの提案は、他の実現プランは具体的なのに、この実現方策2の③は、漠然としていることに違和感があるという意見。 もうひとつは、具体化を後に残すというプランがあって良いのではないか。その後に話し合いで決めるということで、「地域の日」という言葉は、必ずしも抽象的で、その先どようになっていくかわからないという問題ではなくて、方向性は分かっている漠然とした言葉である。
委員	いろいろな貴重な意見に感謝する。 私は、冒頭に言ったように、具体的に3月31日と意義付けて、皆で賑やかにやると考えて発言した。絶対に、これをお願いしたいという訳ではない。参考意見として、聞いていただくとありがたい。
会長	他の意見はあるか。
委員	9頁の実現方策12の①「指導者を育成するカリキュラムを作成し、養成講座を開催する。」とあるが、なかなか指導者が育ってこない。昔、育っていた理由は子ども会があり、河内時代はジュニアリーダー養成講座があり、いろいろなところに参加し、町内会の青年部、消防団、PTAの親子があり、そのような経験者が地域を引っ張るリーダーになっていった。今そのようなシステムが、壊れている。連合自治会やまちづくり協議会にしても、団体の長がこの委員会に入っているが、自分たちの足元の町内会が、このようなことを行っているのかと言うと難しい。そのようなことを含め、ここは再構築して、町内会や班が活性化しないと難しい。 ここでは、「指導者が育つシステムを再構築し、地域の支援体制を整える。」というのを真剣に考えるというのが私の意見である。 希望があるのは、幼稚園にお父さんがたくさん参加している。小学校の運動会を見ている、若いお父さんが多い。私たちの時代は、仕事が忙しいと母親に任せていたのが、今は、参加者が多い。このようなお父さんが、地域の戦力にならないと地域の活性化がされないので、地域ぐるみで応援した体制にすると、生き生きしてくる。
会長	9頁の実現方策12の①の具体的な文言の変更の意見。 ①の文言は、具体的ではある。委員の意見は、更にプラスすることだが、全体としてシステムの再構築を求めるということで、全体を消してしまうということではない。 指導者が育てるシステムが壊れているかは別として、そのシステムを見直す必要があるというのは、共通している。地域が支援していかなければシステムは育たないので、システムのアイデアを出しても、地域が支援する体制が整わないといけない。システムは再構築し、それに対して地域も支援し協力して支える。具体的なシステムに関しては、皆でアイデアを出すということになる。 今の意見は、下の②にも、関係してくる。ボランティア登録制度のシステム、指導者養成システム、カリキュラムも指導者養成システムで具体的である。指

	<p>導者養成システムとカリキュラムとボランティア登録制度の2つだけしか記載していないのでどうか。</p>
委員	<p>育成するカリキュラムを作成し、養成講座を開催して、指導者を作るのも大切だが、地域において指導できる優秀な人がたくさんいる。そのような人を見つけるといことが大切。地域の方は分かって、離れている地域は分からないので、地域から素晴らしい人材を発掘して、指導者としてお願いするという形が良い。</p>
委員	<p>実現方策12の①の文言を変える意見に賛成する立場にたつて先ほど私は、地域力と言ったが、地域力の中には歴史等、情報交換のレベルの高さがある。今の委員の意見でも出たように、地域力があると情報交換がスムーズに行く。また、歴史もある。そのような部分で積極的に指導者を育てていければ良い。</p>
委員	<p>先ほど出た意見の中で、町内会の活性化とか、自治会長や子ども会長のなり手とか四苦八苦して自治会は大変な状況だが、今の文言を①②の後の三番目に、新たに文言を入れていただけると良い。まちづくり協議会のほうで、いろいろなことができる人材を登録していくと良い。登録された人を出前講座等に派遣したりできるようになる。素晴らしい意見なので、自治会のことを考えていくと、地域の支援体制を整えて再構築していただくとありがたい。</p>
会長	<p>①②の後③として入れていくということも考えられるが、皆さんはいかがか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>これについては、検討したい。 他に意見はあるか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
会長	<p>説明に対する意見・質問は、以上で終わりにする。長時間に渡り、貴重な審議を感謝する。 今まで審議した中で文章の修正が出たが、そのまとめ方については、会長、副会長に一任いただけるか。</p>
委員	<p>賛成</p>
会長	<p>次回は提案書の完成したものを市長に提出する。 以上で、会議を終了する。</p>

(3) その他

①次回の開催日程について

- ・平成25年2月19日(火)午後開催を予定

②その他

- ・河内自治会議の懇親会について

(4) 閉会